

文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」中核拠点校開発プログラム

実務家教員育成研修プログラム

インフラメンテナンス分野のリカレント教育と人材育成を担う「実務家教員」の育成

受講者募集要項

2022年度版

独立行政法人国立高等専門学校機構
舞鶴工業高等専門学校
社会基盤メンテナンス教育センター

1. 目的

“Society5.0”－社会が複雑化・高度化し、情報・知識を利活用しながら生きることが当たり前の社会－の到来を前に、社会資本としてのインフラは本格的なメンテナンス時代を迎えています。建設業界には、この社会変革とメンテナンスニーズ増大に対応できる人材を育成し、良質な社会資本としてのインフラを未来に継承することが求められています。

「KOSEN 型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築」(KOSEN-REIM)では、“地域のインフラは地元で守る”をモットーに、地方の建設技術者の技術レベル向上を目指し、高専におけるインフラメンテナンス分野のリカレント教育を担う『実務家教員』を育成します。この『実務家教員育成研修プログラム』では、熟練の建設技術者が“教える”ために必要な能力の修得をめざす実践的カリキュラムで、個々の技術者が培った実務経験や技術力を、次世代に継承可能なコンテンツとして形づくり、伝えていく方法を学ぶことができます。全課程修了者は『専門教士(建設部門)』に認定され、高専が実施するリカレント教育プログラムの講師として、現職とのパラレルキャリアの形成が可能です。

このプログラムが、所属企業・団体等における技術継承の一助となり、また、受講者自身がリカレント教育の場で広く活躍されるきっかけとなることを願っています。



【実務家教員とは（育成する人材像）】

技術士または技術士に相当する資格を有し、インフラメンテナンスに関する高度な実務能力と相当の実務経験を有する人材であり、かつ、教育者としての教養と資質を兼ね備え、教えるための技術を修得し、リカレント教育プログラムの講師として自らの実務経験と技術力を受講者に伝えることができる人材。

2. 対象

- ・インフラメンテナンス分野のリカレント教育を担う実務家教員を目指す者
- ・建設技術者として培った実務経験や技術力を体系化し、次世代に継承したいと考える者

※但し、技術士または技術士に相当する資格を有し、インフラメンテナンスに関する高度な実務能力と相当の実務経験を有する者であること。

3. 開催概要

開催期間： 2022年7月9日～2023年2月4日（事前学修は2022年6月17日開始）

開催日数： 月1～2日（全6回、計9日間）

開催曜日： 土曜日（2日連続の場合は連続する土曜日・日曜日に開催します）

開催時間： 9:00～17:00（開始時間と終了時間は前後することがあります）

4. 講習会会場

大阪市内、及び、舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター

5. 定員

12名

6. 応募・選考方法

- ・受講者は公募します。応募書類（別紙 実務家教員育成研修プログラム受講申込書）に必要事項を記入の上、実務家教員育成研修プログラム事務局 (jp-reim@maizuru-ct.ac.jp)宛のメールにファイル（Word 又は PDF）添付して提出してください。応募書類は、ホームページ (<https://www.maizuru-ct.ac.jp/imec/jp-reim.html>) からダウンロードしてください。
- ・応募書類の提出期限は、2022年5月16日（月）【必着】です。
- ・応募書類に基づく書類選考を実施します。選考結果は5月下旬にメールで通知し、受講決定者には受講手続き等についてご案内します。

7. カリキュラム・スケジュール（詳細は別添のシラバスを参照してください）

実務家教員育成研修プログラム を構成する7講座		e-learning	講習会		
		受講開始	日数	開催日程	開催場所
1	実務家教員の教養講座	6月17日	1	7月9日	オンライン
2	実務経験と専門性の棚卸講座	6月17日			
3	実践講義力養成講座	7月9日	1	7月30日	大阪市内
4	リカレント教育体験講座	8月26日	2	9月17・18日	舞鶴高専
5	教育能力養成講座	9月30日	2	10月22・23日	大阪市内
6	実証講座教育実習	12月23日	2	1月14・15日	舞鶴高専
7	プログラム修了評価	—	1	2月4日	オンライン

※上記の他、11月23日に実証講座教育実習に向けた中間発表（オンライン2時間）を予定しています。

8. 受講料

110,000 円（税込）

※文部科学省補助金を充当しているため、通常より安い価格で受講いただけます。

9. その他

- ・本プログラムの全課程修了者には、舞鶴工業高等専門学校から修了証書及び履修証明書を授与するとともに、国立高等専門学校機構より『専門教士（建設部門）』に認定します。
- ・本プログラムは、文部科学省職業実践力育成プログラム（BP）への認定申請を予定しています。
- ・本プログラムでは、事前学修eラーニングの受講，オンライン授業，課題・レポート等の作成・提出，及び，欠席時のフォローとしての講義映像視聴等において，パソコンとインターネット通信を使用します。必ず，パソコンと必要なインターネット通信環境をご用意の上，ご受講ください。
- ・本プログラムの受講開始までに，指定の教科書（①「実務家教員の理論と実践」実務家教員 COE プロジェクト編，社会情報大学院大学出版部，定価（税込）2,750 円，②「大学教員のための授業方法とデザイン」，佐藤浩章編，玉川大学出版，定価（税込）2,530 円）をご自身にてご用意ください。
- ・本プログラムへの参加に係る旅費等はご自身にてご負担ください。

個人情報の取扱いについて

舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター（iMec）が，本プログラムの応募書類を通じて取得する個人情報は，①受講者の選考，②選考結果通知，③受講に係る手続き及び諸連絡，④iMecからのお知らせ，⑤これらに付随する業務を行うために，事務局，及び，各講座の講師が利用します。



独立行政法人国立高等専門学校機構 舞鶴工業高等専門学校
社会基盤メンテナンス教育センター（実務家教員育成研修プログラム事務局）
〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地
電話： 0773-62-5600（代表），0773-62-8877（直通）
ファクシミリ： 0773-62-5558（代表）
メール： jp-reim@maizuru-ct.ac.jp
iMec ホームページ： <https://www.maizuru-ct.ac.jp/imec/>
KOSEN-REIM ホームページ： <https://www.maizuru-ct.ac.jp/kosen-reim/>